

タイ・バンコク視察会実施報告書

東京 NBC 国際ビジネス委員会 海外視察 2017

主催 一般社団法人 東京ニュービジネス協議会 国際ビジネス委員会
共催 公益社団法人 日本ニュービジネス協議会連合会

2017/9/3～9/6

目次

- I 参加者名簿
- II 期間
- III 渡航費用
- IV スケジュール
- V 目的
- VI 視察内容
- VII 成果報告
 - 1 視察レポート
 - 2 タイ概要

以下のとおりタイ・バンコク視察の報告を致します。

I 参加者名簿

12名＋事務局1名 計13名（以下、敬称略）

	氏名	NBC役職	社名
1	下村 朱美	東京NBC／会長	(株)ミス・パリ
2	辰野 元信	東京NBC／理事／国際ビジネス委員会 委員長	サリカ(株)
3	清水 祐孝	東京NBC／理事	(株)鎌倉新書
4	谷村 真	東京NBC／国際ビジネス委員会 副委員長	(株)gr.a.m
5	山本 修義	東京NBC／国際ビジネス委員会 副委員長	(株)M's club
6	和田 正	東京NBC／国際ビジネス委員会 副委員長	みなと協和法律事務所
7	谷本 由希	東京NBC／国際人財教育委員会 副委員長	(株)SNOW
8	福岡 武彦	東京NBC	三聖トラスト会計事務所
9	泊 健一	徳島NBC／理事	徳島合同証券(株)
10	榎島 正夫	神奈川NBC	(株)マキシマム・テクノロジー
11	笹井 絢子		MAMA`sスクール
12	吉田 文子		Elle`s English School
13	伊藤 剣之介	東京NBC／事務局	東京ニュービジネス協議会

II 期間 2017年9月3日(日) ～ 9月6日(水)

III 渡航費 90,740円/人

(※WAOJE GLOBAL VENTURE FORUM 参加費、航空券は含まず。)

IV スケジュール

プログラム		備考
9月3日(日)	▼16時30分 スワンナプーム国際空港 集合	
	▼17時45分 現地集合組 合流	前夜祭会場
	▼18時00分 WAOJE世界大会 前夜祭	Centara Grand & Bangkok Convention Centre
	▼20時30分 ホテルへ移動、宿泊	NOVOTEL BANGKOK PLATINUM PRATUNAM
9月4日(月)	▼07時30分 ホテルロビー 集合	
	▼08時00分 WAOJE世界大会 本大会	Centara Grand & Bangkok Convention Centre
	▼12時30分 WAOJE幹部との昼食会	
	▼18時30分 WAOJE世界大会 大交流会	
	▼20時30分 ホテルへ移動、宿泊	NOVOTEL BANGKOK PLATINUM PRATUNAM
9月5日(火)	▼9時20分 ホテルロビー 集合	
	▼10時00分 企業視察	PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER(THAILAND) CO., LTD.
	11時15分 終了	
	▼11時30分 企業視察	DR.RECELLA(THAILAND) CO., LTD.
	12時20分 終了	
	▼12時40分 昼食	Somboon
	▼14時00分 ホテル着/自由行動	
	▼17時30分 夕食	Scala Shark Fins
▼18時45分	ホテル着 宿泊組はバスから降車→宿泊 帰国組はそのまま空港へ移動	NOVOTEL BANGKOK PLATINUM PRATUNAM
▼19時45分	帰国組 空港着、解散	
9月6日(水)	▼6時15分 ホテルロビー 集合	
	▼7時20分 スワンナプーム国際空港空港 解散	

V 目的

- ・協力関係にある「WAOJE」の世界大会、【GLOBAL VENTURE FORUM in BANGKOK】への参加。
- ・現地法人企業を訪問することで当地の生の情報を捉え、ビジネスを行う上での環境や人材の有無、日本企業が進出する際のメリット・デメリットを視察、更に、今後、NBC 会員企業が海外進出する場合の情報提供及び人脈作り。

VI 視察内容

- 1 日目 WAOJE 世界大会前夜祭 参加
- 2 日目 WAOJE 世界大会 参加
- 3 日目 現地法人企業 視察
- 4 日目 帰国

VII 成果報告

一般社団法人東京ニュービジネス協議会と公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会は、タイ・バンコク視察ツアーを通して数々の実りを得た。

- ・WAOJE GLOBAL VENTURE FORUM in BANGKOK にて、世界中の日本人起業家の方々と交流、情報・意見交換ができたこと。
- ・現地法人企業から、現状や体験談など机上の理論ではない生の声を聞くことができたこと。
- ・タイ国内での日本語教育の高まりを肌で感じ、進出する日系企業にとって好ましく、今後さらに事業展開がしやすくなることが実感できたこと。
- ・自由時間を設けたことにより、参加者それぞれが自社のビジネスに直結する情報収集ができたこと。

尚、次からの「視察レポート」で、詳細について記す。

1 視察レポート

9月3日（日）

WAOJE GLOBAL VENTURE FORUM in BANGKOK 前夜祭に参加



18:30 【挨拶】（一社）WAOJE 代表理事 迫慶一郎氏

18:40 【講演】大嶋啓介氏（㈱てっぺん 代表取締役）

19:10 【交流会】

約 250 名の日本人経営者が参加した前夜祭は、和僑総会改め、WAOJE 代表理事 迫氏の挨拶で幕開けした。終了の 20:30 まで、活発に名刺交換や交流が行われ、主催者も参加者も大満足の盛会となった。

日本の弊協議会から 13 名の参加者が来ていることに多くの方から驚きの声を頂いた。

9 月 4 日（月）

WAOJE GLOBAL VENTURE FORUM in BANGKOK 本祭に参加



8:00 【挨拶】（一社）WAOJE 代表理事 迫慶一郎氏／アチャカ科学技術大臣

8:40 【ワークショップ】羽根拓也氏（㈱アクティブラーニング 代表取締役）

9:00 【講演】森川亮氏（元 LINE 代表・C Channel㈱ 代表取締役）

10:35 【講演】佐々木圭一氏（コピーライター・「伝え方が 9 割」著者）

- 12:00 【昼食】 WAOJE 幹部との昼食
- 13:25 【挨拶】 来賓：(一社) 東京ニュービジネス協議会 会長 下村朱美
- 13:30 【講演】 西野亮廣氏 (お笑い芸人・絵本作家)
- 14:50 【ワークショップ】 羽根拓也氏 (㈱アクティブラーニング 代表取締役)
- 16:30 【パネルディスカッション】
A：「世界と私。そしてこれから」
B：「日本語で言いたい放題！
～アセアン諸国現地人が日本人と仕事をするにあたって～」
- 18:20 【大交流会・フィナーレパーティー】

LINE㈱ 元 CEO 森川亮氏 (C CHANNEL・CEO) 始め、ベストセラー『伝え方が 9 割』の著者で知られるコピーライター・佐々木圭一氏や、お笑い芸人・絵本作家の西野亮氏が登壇し、豪華な顔ぶれの講演会が続いた本祭には、約 600 名の経営者が参加した。

『WAOJE』とは

World Association of Japanese Overseas Entrepreneurs の頭文字からなる、海外の日本人起業家ネットワーク。本部：東京、支部：国内とアジア 13 都市。

代表理事の迫氏は「世界中のネットワークを目指すには、華僑になぞらえた『和僑』ではなく、華僑の模倣ではい、オリジナルの意志を持ったネットワークをつくっていきたい」と、団体名を WAOJE に変えたこと、今年 4 月に定款作成し一般社団法人化したことを冒頭挨拶で説明した。

昼食時には、WAOJE 幹部との昼食会が開かれ、迫代表理事や、今回の世界大会の実行委員長を務める、WAOJE Bangkok 長谷川代表、和僑会ファウンダー・WAOJE 特別顧問の筒井氏にもご参加頂き、視察ツアー参加者と少数で親しく懇談することが出来た。

午後の部開始の来賓挨拶では、東京 NBC 会長 下村が挨拶し、海外起業家である WAOJE 会員の方々と参加者への労い、また今後より一層の WAOJE の発展を祈念した。

今回の本祭では、ワークショップを始め、様々なかたちで初対面の方同士が交流する工夫がなされていた。本祭に参加した方は「名刺交換 100 枚」のミッションを与えられ、多くの方と交流することが出来た。

中締め挨拶では、迫代表理事が WAOJE の目指す方向をこう締めくくった。

「日本の次の世代のために、海外各国で起業する僕らがネットワークをつくっておいて、彼らがいづ海外に出てきてもサポートして一緒に新しい価値やビジネスを生み出していく場になっていきます。」

多くの海外起業家と交流が出来たことは、我々含め参加者にとって大きな収穫となった。

9月5日（火）

・現地法人企業【PERSONNEL CONSULTANT MANPOWER (THAILAND) CO.,LTD.】訪問



人 物 Managing Director 小田原靖 氏（以下、小田原社長）

業務内容 日系企業に対してのタイ人スタッフ紹介／通訳者、会計事務者等の短期派遣／
ビジネスコンサルタント／レンタルオフィス

設 立 1994年11月

同社は常時約 20,000 名の登録者を抱え職業斡旋を行う。我々が訪問した際にも多くの登録者が訪れ、書類作成や面接、企業検索作業を行っていた。本社はバンコクの一等地にあり駅近で利便性が良く、登録者の方には通いやすい立地だった。

設立時から今まで、紙面の広告を一切打たずに営業を続けているという同社。それは、一元のお客様よりも、口コミで紹介されてきたお客様を大事にし、「一件ずつ」確実に求人募集を決めていくためだと小田原社長は話す。その姿勢が評価され、タイ国労働省から 135 社業務登録している人材紹介会社の中で、最優秀の表彰を受けている。

ほとんどの大学に就職課がある日本とは異なり、タイの大学には就職課と言うものが現在でも無いのが現状。また、小田原社長が会社を設立した当時は、新卒者の定期採用もない状態だったという。その頃、小田原氏は、ある大手企業の人事部長からの依頼で、新卒者の定期採用を始める手伝いをし、成功を収めた。それ以来、お客様が採用計画を立てる際には、中途半端な経験者の中途採用よりも、聡明でポテンシャルの高い新卒者を定期採用することを勧めるようになったということだった。会社のカラーに順応しやすく、吸収が早い、優秀な新卒者の紹介に特に力を入れている同社。現在、タイにある主要な大学との太いパイプは業界一だと話す。

外国人事業規制法により、外国企業進出の際には必ず現地タイの人材が必要になること、

そして優秀な新卒学生を強みとしている会社に対する需要は、今後も高くなることを実感できた。

・現地法人企業【DR. RECELLA (THAILAND) CO.,LTD.】訪問



人物 International Marketing Director 萬美代子 氏
業務内容 化粧品の販売／エステティックの施術／美容講師

萬氏は美容家として 35 年のキャリアがあり、現在ドクターリセラ(株)の海外担当としてご活躍。日本では約 2,000 店舗のエステサロンへ技術・理論の講師を務めた経験や、「全日本全身美容協同組合ゴールド認定講師」として活躍。現在、タイ以外にも、上海、香港、シンガポール、ベトナム、ドバイを担当し、美肌の伝道師として活動している。

店舗はバンコク中心部の ISETAN 内にあり、1F の化粧品売り場は多くのお客様で賑わっていた。

化粧品を販売する場所から少し離れたところに、お客様にエステティックの技術を施す部屋があり、化粧品を購入されたお客様の多くはその部屋で施術を受けてから帰るのが当たり前になってきているとのこと。萬氏が担当する諸外国でも、化粧品の販売だけでは売れないため、セットで施術をしているということだった。

萬氏が渡タイされたのは約 1 年半前。まだ日が浅い事もあり、今は顧客獲得に力を入れて店舗販売を強化しているとの事。化粧品販売フロアには、日本でも有名な化粧品メーカーの販売ブースが並び、日本同様に豊富な品揃えが見てとれた。

「今後も若者が増えるタイでは各メーカーの競争が一層激しくなることが予想される。施術とセットでより効果が目に見える形で販売し、顧客獲得に繋げていきたい。」と、萬氏は話す。

その他、タイで初めて店舗を作るときの苦労話や、今の WAOJE の会員企業に助けてもらった経緯から WAOJE へ入会した話も伺った。

2 タイ概要

正式国名	タイ王国 (Kingdom of Thailand)
面積	51万4,000平方キロメートル (日本の約1.4倍)
人口	6,572万人 (2015年) (タイ国勢調査)
首都	バンコク (Bangkok)
元首	マハー・ワチラロンコン・ボテインタラーテーパヤワランクーン国王陛下 (ラーマ10世王) (2016年10月即位)
首相	プラユット・ジャンオーチャー (Mr. Prayuth Chan-o-cha) (2014年8月～)
政制	立憲君主制
言語	タイ語
民族構成	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
宗教	仏教 94%, イスラム教 5%

◆経済 (2016年)

1. 主要産業

農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

2. GDP	4,069億ドル
3. 一人当たりGDP	6,033ドル
4. 経済成長率	3.2%
5. 消費者物価指数	0.2
6. 失業率	1.0%
7. 総貿易額	輸出 2,153億ドル 輸入 1,947億ドル

8. 主要貿易品目

輸出 コンピューター・同部品, 自動車・同部品, 機械器具, 農作物, 食料加工品
輸入 機械器具, 原油, 電子部品

9. 主要貿易相手国・地域

輸出 1.米国 2.中国 3.日本
輸入 1.中国 2.日本 3.米国

10. 通貨

バーツ (Baht)

・経済概況

1. 概観

インラック政権は、選挙公約としていた全国一律の最低賃金の引き上げ、大卒者の初任給引き上げ、コメ担保融資制度、自動車購入者への減税措置等の経済政策の実施により国内経済の強化を目指す一方、政権発足後は、例年を上回る降水により、北・中部地方

で大規模な洪水が発生し、バンコク周辺の工業団地が浸水したほか、タイ、さらにはサプライチェーンを通じ、我が国及び地域の経済に大きな影響を与えた。このため、当初、国家経済社会開発庁（NESDB）は2011年の経済成長率を3.4～4.0%と予測していたが、実際には0.1%に低迷。その後、大洪水からの復旧・復興から始まり、内需が牽引する形で経済活動は回復し、2012年は、7.3%の成長を記録。2013年は、自動車購入者への減税措置の終了に伴う自動車の反動減、洪水からの復旧・復興投資の一巡により、2012年に成長を牽引した内需が低迷し、2.9%の成長に止まった。

また、2014年5月に発生した政変により、軍部を中心とする国家平和秩序維持評議会（NCPO）が全権を掌握した後の政情混乱等もあり、2014年の成長率は0.9%であった。15年の経済成長について、当初、NESDBは3.0～4.0%を見込んでいたが、同年11月、2.9%に下方修正し、2016年の経済成長率は3.2%であった。

2. 対外経済関係等

・タイの二国間のFTA/EPA

＜締結済みの主な協定＞

日本（JTEPA、2007年11月発効）、豪州（TAFTA、2005年1月発効）、ニュージーランド（TNZFTA、2005年7月発効）

＜アーリーハーベストを開始済みの主な協定＞

インド（2004年9月発効、2012年1月に追加第2議定書へ署名）：家電製品、自動車部品など、82品目の関税を先行して引き下げ開始、ペルー（追加第3議定書署名、2011年12月発効）

＜署名済みの主な協定＞

チリ（2013年10月）

＜交渉中の主な協定＞

EU（2013年5月に交渉開始、2014年4月には第4回交渉実施）

・経済協力

1. 日本の援助実績

有償資金協力 なし（2014年度）

無償資金協力 1.69億円（2014年度、E/Nベース）

技術協力実績 17.43億円（2014年度、JICA事業分実績ベース）

2. 経済関係

1980年代後半以降、日本企業は円高を背景に積極的にタイに進出し、タイの経済成長に貢献。現在、在バンコク日本人商工会議所への加盟企業は2016年2月現在1,701社を数える。1997年7月に顕在化した通貨経済危機に関し、日本は大規模な資金的・人的協力を実施。2007年、日タイ経済連携協定の発効により、両国の経済関係の更なる緊密化が期待される。またメコン地域開発を進める上での日本の重要なパートナーである。

・日本からタイへの輸出入

貿易額（財務省貿易統計，単位：億円）												
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
輸出(タイへ)	24,777	26,647	30,093	30,515	20,697	29,937	29,885	34,889	35,072	33,198	33,870	27,744
輸入(タイから)	17,175	19,639	21,536	21,522	14,952	18,400	19,532	18,857	21,503	22,995	24,711	21,896

【主要品目】

タイから日本への輸出：天然ゴム，自動車・同部品，コンピューター・同部品

タイの日本からの輸入：機械・同部品，鉄・鉄鋼，自動車部品

出所：外務省

・在留邦人数

70,337 人（2016 年 10 月）

・在留当該国人数（短期滞在除く）

47,647 人（2016 年 12 月：外国人登録者）

以上



一般社団法人東京ニュービジネス協議会

<http://www.nbc-world.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6080 FAX : 03-3584-6081

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

<http://www.nbc-japan.net/>

107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 ユニゾ赤坂一丁目ビル 7F

TEL : 03-3584-6077 FAX : 03-3584-6081